

## 基本計画2-1 住環境の整備

### 現状と課題

住宅を取り巻く環境は、刻々と変化しており、「住まい」に対する関心が高まっています。

高齢者や障がい者、子育て世代に配慮した住環境の整備、普及、住宅の住替え支援など住宅事情の変化に対応し、持続可能な世代循環型社会の形成に向けた取組が求められています。

生活水準の向上、生活意識や社会環境の変化に伴う住宅需要を適切にとらえ、民間事業者と連携して良質でゆとりある住環境を供給していくとともに、国の補助金や税の優遇制度などにより若年層の住宅取得を促進し、ユニバーサルデザインの導入など住宅性能の向上を誘導していくことが必要です。

市営住宅は、建物規模が大きく、その維持や更新費用が多額になることが予想されることから、計画的な長寿命化対策に取り組む必要があります。

新たに造成される住宅団地は、土地利用計画や都市計画に基づき、うるおい豊かな住宅地の形成を図り上質な住環境を確保し、移住・定住の促進につなげていかなければなりません。

#### ■市営住宅の管理棟数、戸数

団地名	棟数	戸数	うち政策空家戸数	備考
久根別団地	15	224	8	一部政策空家
中野通団地	7	160		
富川団地	6	144		
茂辺地団地	3	18	18	政策空家(建替予定)
当別団地	1	4	4	政策空家(建替予定)
桜ヶ丘団地	5	17	17	政策空家
江差通団地	2	8	8	政策空家
文月団地	10	40	40	政策空家
緑ヶ丘団地	3	54		
新郷団地	5	18	18	政策空家
本町団地	1	6		
市渡団地	1	6	6	政策空家
本町第2団地	8	40		
千代田団地	2	8		
一本木団地	1	4		
市渡中央団地	8	52		
一本木南団地	4	16		
五月団地	2	24		
東前北団地	2	16		
稲穂団地	4	54		
東前団地	1	16		
東前西団地	6	52		
飯生団地	1	26		借上げ住宅
計	98	1,007	119	

### 成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	市営住宅の管理戸数 (政策空家を除く)	888戸 (18団地)	902戸 (18団地)
2	市営住宅の改修事業	14棟	26棟

[成果指標の現状値・将来目標値について]

- 現状値は平成29年度末管理戸数(政策空家を除く)。  
将来目標値は「北斗市公営住宅長寿命化計画」による平成39年度目標値。
- 現状値は、平成28年度末数値  
将来目標値は「北斗市公営住宅長寿命化計画」による平成39年度目標値。

**主要施策****1 住宅用地の確保**

- ① 定住促進を図るため、市街地の整備方針・地域の動向などを踏まえ、多様な住宅ニーズに対応した良好な住宅用地供給の誘導に努めます
- ② 住居系の未利用地については、宅地開発の誘導に努めます。

【関連主要施策】 P109 主要施策1 計画的な土地利用の推進 ①

**2 市営住宅の整備・長寿命化対策の推進**

- ① 茂辺地団地と当別団地の建て替え事業を推進します。
- ② 久根別団地や中野通団地、富川団地などは建物主要構造部改修事業を計画的に推進するとともに、老朽化の著しい江差通団地や向野桜ヶ丘団地などは廃止・統廃合を行い、維持管理の軽減化に努めます。
- ③ 障がい者、高齢者世帯にはバリアフリー化やユニバーサルデザインによる安全な生活に配慮した住宅の整備、また、若年者世帯には子育て支援施設の設置等、安全・安心、ゆとりに配慮し、駐車場、公園なども配置した住環境の整備に努めます。

**3 住環境の整備**

- ① 民間住宅団地の造成に関しては、うるおいのある市街地形成に向け、ゆとりある住宅地とするために、可能な限りの大きな区画の確保や樹木、花壇など緑の配置を積極的に推進し、適切な誘導に努めます。
- ② 災害に強い、安全で快適な住環境の形成を図るため、開発業者等に対し適切な誘導や指導を行います。

**4 民間建設との連携**

- ① 優良な住宅建設を推進するため、情報の提供などを幅広く行ないます。  
また、住宅の耐震化の促進を図るため、耐震改修促進計画を活用し、耐震化に努めます。
- ② 宅地の無秩序・無計画な広がりを防止する開発誘導に努めます。